

令和 8 年 7 月 箱根町教育委員会会議 会議録

1 開会及び閉会に関する事項

会議は、令和 8 年 7 月 17 日（金）午後 2 時、別紙、箱根町教育委員会会議次第に基づき、教育長が開会宣言を行い、順次、議事を進行させ、午後 3 時 10 分、教育長が閉会宣言をして議事を終了した。

2 開会場所

箱根町立郷土資料館 教育委員室

3 出席委員

井上康樹、勝俣正志、高畠和之、橋口裕子、青山ふみ

4 欠席委員

なし

5 出席職員

教育次長：吉田朋正、学校教育課長：山内圭、生涯学習課副課長：石黒高平、教育相談センター所長：神保るり、学校教育課副課長：安藤恵実

6 傍聴人

なし

7 議事の概要

別紙のとおり

8 議題となった動議

なし

9 議決事項

議案 1 件〔原案可決〕

内容は別紙のとおり

10 その他教育長又は会議において必要と認めた事項

なし

(別紙)

会議次第 1. 開会

教 育 長 皆さん、こんにちは。暑い中お集まりいただき、ありがとうございます。
 関東地方の梅雨明けは平年並みの週明けになりそうです。先月は曇りや雨の日が多く、日照時間が短かったせいか、暑さに難儀することはあまりなかったと感じていますが、7月に入り、先週の土曜日からは小田原でも昨日まで6日連続で真夏日を記録しています。梅雨明け後は連日、真夏日、時には猛暑日に迫る日もあるでしょう。委員の皆さんにおかれましては、どうかご自愛ください。

さて、本日、3小1中は無事に終業式を迎えることができました。日頃の教育委員の皆様の見守りやサポートに対しまして心より感謝申し上げます。1学期の子どもたちの様子については、後ほど相談センターの神保所長からの報告をお聞きください。

本日の会議は1件の議案があります。円滑な議事進行へのご協力を、よろしく願います。また、会議終了後は、洞爺湖町へ親善訪問する中学生の結団式がありますので、そちらへの出席もどうぞよろしくお願いいたします。

会議次第 2. 前回会議録の承認について

〔箱根町教育委員会会議規則第19条の規定に基づき作成したR8.6.24に開催した教育委員会会議の会議録が承認された。〕

会議次第 3. 教育長等諸報告について

(1) 会議等の謝辞・報告について

教 育 長 次第3. 教育長等諸報告について、お願いします。
 学校教育課副課長〔謝辞及び報告事項を資料に基づき説明を行った。〕

会議次第 4. 議案

日程第1 議案第20号 旅館業法第3条第4項の規定に基づく施設環境の意見について
--

教 育 長 それでは4の議事に入ります。本日の議題は次第のとおり1件となっています。日程第1議案第20号、旅館業法第3条第4項の規定に基づく施設環境の意見について事務局説明をお願いします。

学校教育課副課長〔議案第20号朗読〕

生涯学習課副課長 旅館業法第3条第4項の規定に基づく施設環境の意見について、説明。

教 育 長 事務局からの説明についてご不明な点があれば質問をお願いします。

委 員 基本的な質問で申し訳ありませんが、簡易宿所と民泊とは違うのですか。

教育次長 民泊は住宅宿泊事業法で定められていて、年間180日の営業日数の制限があります。旅館業法での申請する場合は、旅館、ホテル、簡易宿所で、365日営業できます。簡易宿所と民泊は定める法律は違いますが、どちらも見た目は民泊です。

許認可は神奈川県ですので、どちらの場合も何かあった場合の指導は神奈川県で行います。

委員 旅館業法の許可の方が厳しいのですか。
学校教育課長 住宅宿泊事業法の場合は届け出だけで営業がはじまりますが、旅館業法は申請が必要です。

教 育 長 他に質問はございますか。それでは審議に入ます。

教育委員会としては、総合体育館の施設環境が著しく害されるおそれがないものとして意見を出しますが、委員の皆さんから何かご意見、ご異議等はございますか。特に無いようですので、議案第 20 号を採決したいと思います。本議案について原案の通り決定することに賛成の方は挙手をお願いします。全員賛成。よって議案第 20 号は原案のとおり施設環境が著しく害されるおそれがないものと認めます。

本日の議案は以上になります。

会議次第 5. 協議事項

なし

会議次第 6. 報告事項

(1) 小中学校の様子について

教 育 長 はじめに、小中学校の様子について、お願いします。

相談センター所長

今回は、1 つ目にアンケートについて 2 つ目に各学校の様子についてお話しさせていただきます。

まず 1 つ目ですが、県からも、子どもの教育相談については、いろいろなやり方で子どもたちが自分らしく生きていかれるように、アンケートを取りつつ面談をして、子どもの思いを吸い上げて自己実現を図っていくという施策が出されています。それを元に箱根町ではウェルビーイングアンケートというものを実施しております。学校に行くのが楽しいとか、家にいると安心できるとか、そういうことを聞いていますが、特に今言った 2 点で、「思わない」というものに丸をつけた子についてはすぐに面談をするなど、フォローを行っています。また、ヤングケアラーの質問項目も入れまして、ヤングケアラーという言葉は出しませんが、該当しそうな子については、学校ですぐ面談をしていただくとともに、子ども家庭センターと教育相談センターの両方で事情を聞くなどを行っています。

次に、いじめの予防と現状の把握という目的で、学校生活アンケートというものを無記名で行っております。こちらは教育委員会の方で、前年度との比較や、傾向を抑えるために集計・分析をしています。それを学校に返して、学級経営や、学校運営の参考や指針にさせていただくというものです。

これについては小学 1 年生は、環境の変化になかなかついていけずに不安感がかかなり出ていますが、2 年生になると肯定的な項目がかかなり伸びていきますので、環境に慣れて安定して生活できている様子がわかり

ます。

3、4、5、6年生の傾向ですが、楽しいとか、協力できる等々、どの学校も同じように平均では高い数値が出ております。課題として、悪口やあだ名というのが少し増え、5、6年生になると仲間外れやメールでのやり取りのトラブルなどがだんだん出てきます。これは全て悪いということではなく、3、4年生になると自己理解が進んでくることが、それに対する自分なりの考えが出てくることが、それから先生方の対応、そういう中で育てていく材料になっている、というふうに思います。そして、5、6年生では、今まで少し言いなりになって嫌なことを断れなかったけれども断れるようになってきたという数値が上がってきたりという部分もありますので、やはり、自己理解が進むとともに自立に向けて思春期を迎えるという、その傾向に3、4、5、6年生のデータは示されているというふうに思います。ただ、自己肯定感や自己有用感は少し下がり気味になってきていますので、そこについては小学校の高学年に向けて、自分の良さや、それから自分の役割が果たしている部分がたくさんあると思いますので、先生方もそういうところを意識して取り組んでいると思います。

中学生の傾向としては、クラスで楽しい気持ち、ほっとできる気持ちがあるとか、人に親切にするとか、そういうところは平均の中でも高い数値を示しています。昨年との比較としては、1年生は、役に立つとか、自分が好き、というところがかなり下がっています。これは、新しい環境にまだ慣れていない様子がわかります。逆に約束を守るとか、言いなりにならない、嫌なことは嫌と言う、については、以前のデータと変わらず持ち続けてくれていると思います。

2年生では、安定して楽しいと感じる生徒が増えています。また、約束を守れるというところはほぼ変わらず保っていると感じます。

課題として、やはり自己肯定感や自己有用感が少し低いのではないかと思います。しかし1、2、3年生と、高くなっていきますので、自信がついて、色々な経験をしていく中で高くなっていくのかな、と思われると思います。その部分については先生方も意識されて、言葉かけや、皆での集会で認めるということの大事さを意識した取り組みをされていると思います。

あとは、小、中共通して人間関係が近いせいか、悪口やあだ名が飛び交ってしまうということは、人間関係も固定化して慣れてしまっているので、そこについても課題であると感じます。中学校2年生、3年生となると少しずつ大人に近づいていきますので、その部分は指導が必要になってくるというふうに中学校の方でも言われていました。

なので、自己肯定感や自己有用感、それから近いがゆえのトラブルというところが課題であるというふうにアンケートからは推察することができます。

★ホームページ公開用会議録要旨★

次にアンケートではありませんが、虐待予防施策で要保護児童対策地域協議会というものがあります。子育て支援課と教育委員会と連携して現在の子どもたちの不安な部分、家庭の不安な部分、そういうものを聞き取りながら、夏休みのリスクマネジメントを、全小、中学校を訪問してフォローアップをしておりますので、また、地域の皆様にご協力や見守りをしていただきながら、フォローしていけたらと思います。

以上が、アンケート等の関係するところです。

次に各学校の状況です。各学校すべて箱根教育である、3小の交流ですとか、幼保小中の一環の中での活動がとても多く展開されています。特に小学校は、2年生がアジサイ電車と一緒に乗ったり、3年生は箱根の森小学校でレクリエーションをしたり、4年生はプラネタリウムと一緒に見たり、5年生は自動車工場見学に行ったりという形で、交流が進んでいます。特に、3小学校の混合のグループで交流を図ったり、仲良くなるだけではなく、交流会の企画、進行というものの中で、一人一人が活躍できる場があったり、意見交換をして多様な考えに触れて学びを広げたり、というそういう実感を子どもたちが持てているというお話を伺いました。特別支援学級も小中学校の交流で、合同キャンプを6月の末に実施しておりますが、これについても、3小学校の交流もでき、中学生が、小学生に向けてリーダーシップを発揮したり、思いやりを持って接する、実践的な活動として子どもの成長がよく見られたという話を聞いています。

小学校4、5年生は各校別々ですが、足柄ふれあいの村で宿泊学習を行っていますが、その中でもたまたま日程が重なったりすると、小学生同士が手を振って挨拶をしていたり、違う学校の先生同士がお話ししたり、今までの交流が生きているということを実感されたということです。

各校の様子ですが、湯本小学校についてはドクターヘリの発着所になっており、発着に際しては、プライバシーからも、音量からも、窓やカーテンを閉めて対応している間の子どもたちの様子が心配でもあったそうですが、とても落ち着いて対応できていたので、地域の中の学校としてその役割を果たす大事さ、そこで命を守る場所として湯本小学校が貢献しているということも教材にしていけたら、ということも言われていました。

また、不登校傾向のお子さんが転校して来て、学校で温かく迎えられて、保護者の方にもとてもよく声をかけてくれたりして、少人数の中でとても関係性が高い形で、地域でも迎えられて、小規模の中で、地域に子どもたちも受け入れてもらっているのかな、というふうに思います。ただ、先ほども話しましたが、固定化された人間関係の中をどういうふうに崩していって、多様性を認められるようになるのかというところは課題だというようなお話もありました。

箱根の森小学校では、先ほどお話ししたような園小中一環教育のとこ

★ホームページ公開用会議録要旨★

ろで成果が上がっているというお話がありました。課題では、先ほどの学校生活アンケートから SNS トラブルが発見され、その対応を全校児童のミニ集会や保護者懇談会、学校だよりでお知らせをして周知徹底を図っていただくという取り組みをしていただいたそうです。これは中学校に繋がっていくと思いますので、先ほどのアンケートの中にもメールでのやり取りで傷つきがあるというふうに答えた子が年々が増えている状況があるので、小学校からしっかり取り組んでいただけるといところは今後につながっていくと思います。

仙石原小学校では、天候に左右されず、水泳ができて子どもたちの活気ある授業ができてとても喜んでいるという話をされていました。学年交流もしていきまして、人数が少ないので縦割り班でウォークラリーや、長縄練習をして、高学年になるにつれてリーダーシップを発揮して6年生を中心に協力しているということで、今後も繋げていきたいという話でした。それから、全校道徳を朝会で行っているそうです。班で話し合っていて、その場で発表したりして真剣に考えている様子でした。地域や仙石原幼児学園との連携がありまして、農業祭に小学生も参加して園児や地域の方々と交流が深められたということでした。仙石原小学校はとても外国に繋がりのあるお子さんが多く、今年新設した国際学級の方で学習しているお子さんが少しずつ増えています。その中で日本語の習得や日本語、文化の理解を交流のクラスの中でもやりますし、取り出しで国際学級の中でもやっていますし、その連携をスムーズにしていきたいというようなお話もありました。

最後に箱根中学校です。

箱根中学校は、定期テストが6月にありました。結果ははっきり言って厳しいとおっしゃっていましたが、1年生としては慣れないながら努力の姿があり、3年生は、学習への意識が変化して、各教科の先生に質問している姿がこちらで見られるようになってきたので、意識的には上がっている、ということでした。部活動の激励会の中では、3年間の様子で、気持ちが伝わるコメントが多かったそうです。また、日程的に引退が夏休み前に決まってしまう部活もありますが、箱根中学校が会場として利用される際に、引退が決まっても役員として準備など手伝う姿が見られて、それも素晴らしかったという話を伺いました。また、強羅観光協会から、新しく提灯を作り変えたいので、中学生に作ってほしいというお話があり、提灯を新しく作ったそうです。皆で取り組んで、地域のために頑張ったということで、中学校のホームページで紹介されているようなので、ぜひご覧いただければと思います。夏休みに向けては、毎年ボランティア活動をやって地域にいろいろ行きますので、そういうところで社会性を育ててほしいということです。

あとは不登校対応として、なかなか学校に足が向かない生徒には、家庭訪問、電話連絡、関係機関との連携をして、夏休みの間もフォローし

★ホームページ公開用会議録要旨★

ていきたい、ということ聞いております。私たちの方に通室している生徒については、調理実習や登校日を決めて、活動を続けて、9月から登校をできるようフォローしていきたいと思っております。

教 育 長 ありがとうございます。今回はアンケートと各学校の様子、大きく分けて2つの観点で報告がありましたけれども、委員の皆さんから何か質問やご感想等ありましたらどうぞ。

委 員 子ども達が少ない中で、3小学校の交流がすごくいいな、というふうに思っております。確か、箱根の子ども達は、全国学力学習状況調査の生活アンケートの中でも、自己有用感や肯定観が全国に比べて高くてすごいなと思っていたのですが、やや低いというのは今までに比べて少し低いということですか。

相談センター所長

学校生活アンケートの中でとっていると、前期よりも低かったという見方でお話をさせていただいています。

教 育 長 私は毎年いろいろ全国学力学習状況調査や学校生活アンケートを見ると、箱根の子どもたちは自己肯定感や有用感の部分が低いと自分では感じています。ただこれが箱根の子どもたちだからということではなく、謙虚さだとか、自分を出しすぎないことを美德とする日本人の気質というか、そんなところも大きく絡んでくるんじゃないかなと。ただこれからワールドワイドに活躍する、グローバルに活躍していく子どもたちを育てていくために自信を持って自分を表明していくことは大事だから、その辺は何とかしていかなくちゃいけない。第4期箱根町教育振興基本計画の中で褒める教育から、さらに一步進めてプロセスを認める教育に力を入れていきたいと思います。毎回伝えてきていますが、なかなか数字として現れてこない、もどかしさは、自分の中では感じているところがあります。

ご自身のお子さんの自己肯定感だとか、有用感はどうですか。

委 員 私の子どもですと、アンケートに回答する時にやはりそれに丸はしにくいかもしれないです。学校ではたくさん褒めていただいていると思っています。

教 育 長 アンケート項目の「自分が好き」というのも難しいですね。

相談センター所長

自分を好きという項目が、1、2年生は高いですが、3、4年生くらいになると、発達によって、自分のことがだんだん理解できて、自分の特性や得意な部分について伸ばしていったら、そういったところで自分が認められていくことで、自己肯定感は上がっていくと思いますが、何かができないと自分はダメだという全否定してしまう傾向があるので、自信を持っていいところ、伸ばしてほしいところを明確に、育てていくことが大事かなという風には思います。

委 員 さきほど教育長がおっしゃったようにプロセスを認めるというところ

★ホームページ公開用会議録要旨★

ろがそうだと思います。褒めるということは難しく、低学年は素直に入りますが、高学年としてはプロセスを認める声掛けが自己有用感に繋がってくるのかと思います。

教 育 長 教育委員さんは学校のホームページはご覧になることはありますか。昨年度までは、中学校の更新があまり無かったのですが、今年はすごく更新していて、さきほど話が出ていた学年で昼休みに子ども達が計画して遊んでいるというのをホームページで見て、今年からかと思ったら、ずっと以前からやっていると、そんな話があったり、つい最近はバス停の清掃をやっているということで、バスの時刻表をきれいに磨いているような写真が出ていたり、こういうことがよくわかるので、時々皆さんも覗いてみていただけるとありがたいです。

それではよろしいですか。

会議次第 6. 報告事項

(2) 箱根町子ども会レクリエーション大会の結果について

教 育 長 それでは続けます。(2) 箱根町子ども会レクリエーション大会の結果について、お願いします。

生涯学習課副課長 [資料1に基づいて説明]

教 育 長 児童数が減少する中でも参加者が増えているということです。湯本は単位子ども会も無いのですか。

生涯学習課副課長 単位子ども会が残っているところもあり、その保護者の方も今回参加していただいたので、他の湯本の方の参加にも繋げていきたいと思っていますところ です。

会議次第 7. 連絡事項

(1) 箱根関所の夏イベントについて

教 育 長 次に連絡事項に移ります。(1) 箱根関所の夏イベントについて、お願いします。

生涯学習課副課長 [資料2に基づいて説明]

会議次第 7. 連絡事項

(2) 郷土資料館ワークショップの開催について

教 育 長 (2) 郷土資料館ワークショップの開催について、お願いします。

生涯学習課副課長 [資料3に基づいて説明]

会議次第 7. 連絡事項

(3) 第35回箱根町グラウンドゴルフ大会について

教 育 長 (3) 第35回箱根町グラウンドゴルフ大会について、お願いします。

生涯学習課副課長 [資料4に基づいて説明]

会議次第 8. その他

(1) 次回定例会への付議事項について

教 育 長 次第.8 その他です。委員の皆さんから何かございますか。では9月

★ホームページ公開用会議録要旨★

の予定を決めたいと思います。事務局候補日を挙げてください。

学校教育課副課長 9月18、24、25日でいかがでしょうか。

教 育 長 それでは9月の定例会は、24日午後で大丈夫ですか。9月24日14時からということをお願いします。

それでは、本日の定例会はこれで終了したいと思います。

お疲れさまでした。

【午後3時10分閉会】